

広島市 農業委員会だより

令和元年夏号(37号)

発行:広島市農業委員会 ☎(082)568-7755

〒732-8510 東区東蟹屋町9番38号(東区役所内)

4代100年続く農業経営をめざして!

“ひろしま活力農業” 経営者育成事業第9期生 **今田典彦さん** (安佐南区沼田町吉山)



今田典彦さん(39才)は、安佐南区川内出身で25歳の時に脱サラをし、農業経営者をめざして安佐北区白木町井原の中川農園で修行されました。その後、広島市農業振興センターで“ひろしま活力農業”経営者育成事業の研修を経て、平成20年4月に安佐南区沼田町吉山地区で約50aのほ場(ビニールハウス10棟・約30a)を借りて、コマツナの栽培をベースに就農されました。

2年目には、病害が発生し苦労したそうですが、持ち前の探求心と努力でこの困難を乗り越えたことが、大きな自信につながったそうです。平成27年4月に法人化、「株式会社ルンビニ農園」を設立し、現在はビニールハウス34棟(65a)、社員3名、パートタイマー11名で経営されています。

本年度は、沼田町阿戸地区にビニールハウス16棟を新設する規模拡大に取り組んでいます。また、新入社員の一家族は、戸山へ移住することが決まりました。今田さんは、地域の一員として、農業振興を含む秩序ある「戸山のまちづくり」に期待するとともに、「4代100年続く農業経営」をめざして奮闘しておられます。私も、その取り組みを応援しています。

(取材:浅元 恒夫 農地利用最適化推進委員)

農業委員会の委員が改選されました

農業委員会初総会（6月17日）において、役員が決まりましたので紹介します。

会長 福島 幸治

会長職務代理者 鍛冶山 正照

会長職務代理者 己斐 潔

会長就任のご挨拶



会長 福島 幸治

広島市農業委員会 会長 福島 幸治（安佐南区中筋）

任期満了に伴い、農業委員19名が改選され、会長職を拝命させていただきました。また、農地利用最適化推進委員42名も改選されました。

農業を取り巻く環境は、農業者の高齢化や担い手不足などによる遊休農地の増加など、依然として多くの課題があります。これからの3年間、広島市の地域農業と農村の発展のため、農業委員と農地利用最適化推進委員が連携し、一丸となって努める所存でございます。

皆様方より一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

農業委員の皆さんを紹介します



やまもと かおり
山本 香織
南区松原町



かじやま まさてる
鍛冶山 正照
西区井口



みぞぐち のりゆき
溝口 憲幸
安佐南区川内



かじやま まさはる
梶山 正治
安佐南区大塚西



いとう のぶひこ
伊藤 信彦
安佐南区沼田町



いわしげ まもる
岩重 守
安佐北区白木町



こい きよし
己斐 潔
安佐北区白木町



しただに くによ
下谷 邦代
安佐北区狩留家町



さとう かずお
佐藤 和夫
安佐北区深川



ぬまた ひびり
沼田 聖
安佐北区大林



おきだ みつはる
沖田 光春
安佐北区亀山



こう のぶよし
河野 信義
安佐北区安佐町



たにぐち あきら
谷口 憲
安佐北区安佐町



こうの よしみち
河野 芳徳
安芸区畑賀



やまがた よしあき
山縣 由明
安芸区阿戸町



よしだ よねはる
吉田 米治
佐伯区湯来町



おくだ かずなり
奥田 一成
佐伯区五日市町



こだま かずなり
児玉 一成
佐伯区三宅

農地利用最適化推進委員の皆さんを紹介します

中区、東区、南区、西区

旧祇園町、旧安古市町、旧佐東町

旧沼田町

第1地区



かわさき ただのり
川崎 忠則
東区上温品



ひらかわ かずよし
平川 和義
東区福田



いわた いさお
岩田 勲男
西区南観音

第2地区



しまもと けいじ
島本 啓司
安佐南区西原



たけうち しょうご
武内 祥吾
安佐南区高取北

第3地区



ひき ち よしのり
引地 義範
安佐南区伴西

旧沼田町

旧白木町



あさもと つねお
浅元 恒夫
安佐南区沼田町



かわさき りゅういち
川崎 龍一
安佐南区伴中央



の いね まさし
野稲 正至
安佐南区沼田町

第4地区



まつばら はるお
松原 春男
安佐北区白木町



おく ひでのぶ
奥 秀信
安佐北区白木町



まさ き とし ゆ き
正木 壽輪基
安佐北区白木町

旧白木町

旧高陽町



せ ら こうじ
世羅 宏二
安佐北区白木町



はしもと かずと
橋本 一登
安佐北区白木町



ほつ た すみたか
堀田 純高
安佐北区白木町



いけだ けんじ
生田 憲壽
安佐北区白木町



したなか みちのり
下中 通徳
安佐北区白木町

第5地区



かみぐち かつま
上口 勝磨
安佐北区小河原町

旧高陽町

旧可部町

旧安佐町



こかわ さだお
古河 定男
安佐北区深川



なかみち まさのり
中道 正則
安佐北区可部南



はやぞえ かずたけ
早副 和剛
安佐北区亀山



ぼう かずよし
坊 和義
安佐北区大林



まえぼう ともり
前坊 友紀
安佐北区可部町

第7地区



こう の ひではる
河野 英治
安佐北安佐町

農地利用最適化推進委員の皆さんを紹介します

旧安佐町



なかがわ とし お
中川 俊雄
安佐北区安佐町



おかだ たかあき
岡田 孝昭
安佐北区安佐町



なかとみ やすのり
中富 康範
安佐北区安佐町



おきた み き お
沖田 美貴男
安佐北区安佐町



ふな き よし え
舩木 良江
安佐北区安佐町



なかもと かず し
中本 和志
安佐北区安佐町

安芸区

旧湯来町



なか の まさゆき
中野 雅之
安芸区上瀬野町



い さ き よし み
伊崎 嘉己
安芸区阿戸町



たかやま まさあき
高山 正明
安芸区矢野東



だ い も ん ゆたか
大門 裕
安芸区畑賀町



う え の よし き
植野 芳記
安芸区中野



こばやし ひろみち
小林 公道
佐伯区湯来町

旧湯来町

旧五日市町



か とう ただのり
加藤 忠則
佐伯区湯来町



し ら い かずよし
白井 一良
佐伯区湯来町



は や しだに たく や
林谷 拓也
佐伯区湯来町



き む ら まさかず
木村 正和
佐伯区湯来町



か わも と ぶんそう
川本 文三
佐伯区利松



い わ き たかひこ
岩崎 孝彦
佐伯区千同

「所有地及び耕作地に関する申告書兼農地基本台帳」の提出について

「所有地及び耕作地に関する申告書兼農地基本台帳」は、毎年8月1日現在における農地の耕作や貸付状況等を調査するため、原則、借り入れ地を含め10a以上の農地を耕作している農家の方に申告していただいています。

この申告をもとに、各農家の農地基本台帳を作成し、農地法に関する緒申請の審査や各種証明書の発行を行う基礎情報としていますので、必ず申告してください。

なお、申告書は各地区の生産区長を通じて配布しますので、必要事項を記入のうえ、生産区長へ提出してください。また、一部の農家の方には、農業委員会から申告書を送付しますので、必要事項を記入の上、農業委員会へ送付してください。

市長と農業者との懇談会

平成31年2月4日、農業委員会と広島市農業振興協議会は、JA広島市本店で、「市長と農業者との懇談会」を開催しました。懇談会には、農業者など約90名の参加があり、「農業で輝くひと～就農や定住を通じた地域の活性化～」をテーマに、4名の方に発表していただきました。

安芸区阿戸町でコマツナを栽培している“ひろしま活力農業”経営者からは、「消防団活動に参加し、サッカーを子どもたちに教え、農業だけでなく地域の担い手として活躍したい。」、安佐北区白木町で青ネギなどを生産されている農業者からは、「小学生の農業体験学習や交通安全運動推進隊を長年続けている。災害を乗り越え、担い手の育成、地域貢献に一層頑張りたい。」、安佐南区沼田町で、野菜の生産や、地場産野菜を使用したレストラン経営などの事業をされている法人の代表者からは、「産直マルシェでの野菜直売は、地元農家の生産意欲を高め、来訪者の増加につながっている。地域発展のため、寄与していきたい。」、佐伯区湯来町の農業者からは、「湯来町へ移住し蕎麦屋の店を目指す方と知り合い、ソバの栽培をはじめた。昨年そば店が開店し、地区外からの誘客につながっている。」と発表がありました。

松井市長は、「豊富な農業経験に基づく熟達した立場からのお話や、他の業種とのコラボによる取り組みなど、様々な視点から感動的な良い話が聞けた。今日の話皆さんが吸収し、それぞれの地域で、努力していただければありがたい。」と述べられました。



"ひろしま活力農業"経営者育成事業の説明会等を実施します!!

広島市では、葉物野菜栽培などの研修、農地のあっせん、ビニールハウスのリース、定住に向けた空き家の紹介など、研修から就農まで農業経営者としてのスタートを手厚く支援する、“ひろしま活力農業”経営者育成事業を行っています。

説明会では、「どんな農業を行うの?」「就農・定住する地域はどんなところ?」などの疑問にお答えします!ぜひお気軽にご参加ください。

説明会

■就農・定住セミナー

日時：8月17日(土)14:00～

会場：合人社ウェンディひと・まちプラザ5F
研修室C(広島市中区袋町6番36号)

■現地見学・体験ツアー

日時：9月21日(土)～23日(月・祝)予定

場所：広島市内の就農地や周辺住環境、研修施設(広島市農業振興センター)など

お問い合わせ先

■農業に関すること

(公財)広島市農林水産振興センター 農業担い手育成課
〒739-1751 広島市安佐北区深川八丁目30番12号
☎(082)842-4421

■定住・説明会に関すること

広島市企画総務局地域活性化調整部 地域活性推進課
〒730-8586 広島市中区国泰寺町一丁目6番34号
☎(082)504-2837

みんなで読もう! 全国農業新聞

農政・経済の動向、全国の優良営農事例等が多く掲載され、農業経営に役立つ読みやすい新聞です。(月4回発行 購読料1か月700円)
～お問い合わせは、農業委員会事務局まで ☎(082)568-7755～



Interview ～災害を乗り越えて～

農地利用最適化推進委員の取組 世羅宏二さん（安佐北区白木町）

平成28年から農地利用最適化推進委員になられた世羅宏二さんは、3年間の活動を、遊休農地の対策に頭を悩ます日々だったと振り返りました。「地主に耕作の意向を確認し、不作付地なら借り手を探すのですが、集落で耕作できる人はすでに手一杯まで請け負っている状況で、借り手がないのです。」



ほ場整備を実施した農地で75歳以上の地権者のうち、3分の2は作業委託に出すか、保全管理しかできておらず、委託を受けている人も60歳代であと何年耕作できるかと悩んでいる中、昨年7月の豪雨災害が追打ちをかけました。田畑に土砂が流入し、堰と水路が流れてしまい、今でも、土砂の撤去は終えたものの、護岸と堰、水路の補修には着工できていません。

「田に水を回せない今、作付けができない田がたくさんある。何より高齢の農家が災害後に意欲をなくしてしまった。このままではいっそう遊休農地化が進みそうだ。」と世羅さんは大いに心配しています。

こうした中、新たな担い手による農地の再生の取組みも進めています。

西須沢地区のほ場整備を実施した農地で、保全管理だけをしている農地があり、2年間様子を見ていたが、草刈もしなくなったので、地主へ連絡を取ったところ、「病気のために入院しており、しばらく帰ってなかった。今後も、体調の不安から耕作できないのでどうしたら良いか。」と相談を受けました。他方で、(公財)広島市農林水産振興センターが「ひろしま活力農業経営者(以下「活力生」)の就農場所を探していると聞き、これらとうまく結び付けられないかと、近隣の休耕地の地主や、耕作をやめようか悩んでいる農家との折衝を重ねた結果、活力生へのあっせん農地としてまとめることができました。活力生は来年度から就農する予定ですが、近隣には、まだいくつかの遊休農地があるため、今後活力生の規模拡大により、遊休農地の再生のみならず、将来的な地域コミュニティの担い手の育成にもつながります。



この他、市川地区などでも、遊休農地の取りまとめを進めており、さらに多くの活力生の定着により、農地の再生、地域の活性化が進むことが期待されます。

担い手に農地を貸していただけの方を探しています

農業委員会では、“ひろしま活力農業”経営者育成事業に係る就農地をあっせんするため、次の条件をすべて満たす一団の農地を探しています。農業委員・農地利用最適化推進委員まで情報をお寄せください。

- ・農業振興地域内の農地
- ・30aのビニールハウスを整備できる規模の農地
- ・ほ場整備事業等により整備された農地、又は未整備農地でもある程度平らな農地

※ 未整備農地は換地を伴わない小規模な区画整理を実施することがあります。また、一人の農地で条件を充足していなくても、近隣の農地と併せて条件を満たしていれば、借り受けの候補地とします。

農業者年金に加入しましょう!

～お問い合わせは、
農業委員会事務局まで
(電話568-7755)～

- ※年間60日以上農業に従事している方が対象です。
- ・月額2万円～6万7千円(千円単位)で自由に設定できます。
 - ・社会保険控除の対象となり、所得税・住民税等の優遇があります。

